



ソリューションシート



DevOpsにおけるスピード感で
セキュリティとコンプライアンスのベストプラクティスを提供



課題

ソフトウェアサプライチェーンの保護は、攻撃手法の進化とセキュリティのポイントソリューションが混在することでますます複雑化している課題でありセキュリティの盲点やギャップが生じる可能性があります。

DevOpsとセキュリティ専門家はリリースの信頼性を低下させることなく開発速度を維持する方法を考えていく必要があります。開発者が統合されたセキュリティの自動化と知識を即利用できるようにすることは、DevOpsをスピーディで安全なソフトウェアを提供するためには必要不可欠です。

ソリューション

JFrog Xrayはセキュリティの自動化と知識をDevOpsワークフローに直接統合し、信頼できるソフトウェアリリースをより迅速に提供可能なアプリケーションセキュリティツールです。JFrog Xrayはソフトウェアのサプライチェーンを強化し、gitリポジトリからエッジデバイスへの配布まで、パイプライン全体をカバーします。



Xrayは異なるDockerレイヤーをすべてスキャンし、実際にどのバイナリが含まれているかを検出できます。それによってビルドに脆弱性がある場合にはチームに通知し、別バージョンを利用するか、別バージョンで作業を開始するかを決定できます。



KROGER (クローガー)

DevOpsエンジニア

BRAD BECKTELL (ブラッド・ベックテル)

メリット

ゼロデイ脆弱性と悪意あるコードの検出

- バイナリレベルでゼロデイ脆弱性を自動解析し、かつてない精度で実現した唯一のアプリケーション・セキュリティツール

構成上のセキュリティ脅威を排除

- ソフトウェア構成の分析を行うセキュリティツールであり攻撃対象領域のより広範囲をカバー

自社およびサードパーティのコードスキャン

- 自社開発コードと依存するOSSの脆弱性を検出
- 包括的なソフトウェア構成分析ソリューションでOSSを使用するリスクを削減

コンテキスト修復

- 脆弱性のノイズを減らし、最も重要な脆弱性をスマートに優先順位付けして時間を短縮
- バイナリレベルでのセキュリティ分析により、より正確で誤検知 (false positive) の少ない分析が可能

迅速な修正

- 強化されたCVE(共通脆弱性識別子)データにより、直感的にステップバイステップで開発者に修正箇所を詳細に伝えることで脆弱性の修正にかかる時間を最小化

きめ細かいポリシーで運用を自動化

- 柔軟なポリシーを利用して、セキュリティとライセンスコンプライアンスのガイドラインを自動化
- 検出された違反を特定のコンテキストに一致するように軽減措置を適用

DevOpsエコシステムの統合と自動化

- お気に入りのGitリポジトリ、IDE、CI / CDツール、オブザーバビリティ(可観測性)とSIEMプラットフォームなどを既存のDevOpsエコシステムに統合
- REST APIまたはJFrog CLIツールを活用してソフトウェア・デリバリーライフサイクル(SDLC)全体のセキュリティを自動化
- 使用中のコンポーネント、それらの依存関係、関連するライセンスリスクの詳細を示すSBOMを生成。標準フォーマットであるSPDXおよびCycloneDXをサポート

Xrayの比較表

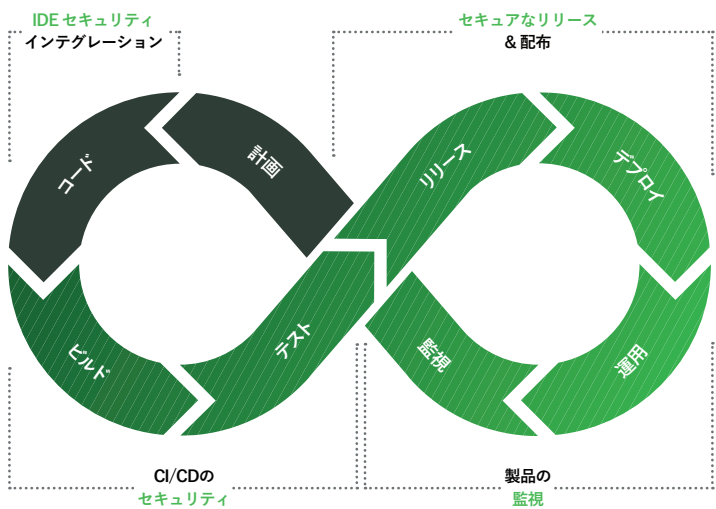
	JFrog	WhiteSource	Sonatype Nexus IQ	Snyk	Black Duck	GitHub	GitLab
							
全体的なセキュリティとコンプライアンス	強化されたSCA - コンテキストの優先順位付けを含むサードパーティソフトウェアのセキュリティとライセンスコンプライアンスの問題						
ゼロデイ脆弱性の検出 - 独自コードの潜在的な未知の脆弱性							
セキュリティ構成 - ソフトウェア構成の問題と製品セキュリティの不正行為							
DevOpsプロセスへの組み込み	バイナリ・リポジトリ・マネージャーとネイティブに統合						
エンタープライズ対応	完全なハイブリッドおよびマルチクラウド・ソリューション						

全体的なアプローチで
今日のセキュリティの課題に対応

信頼できるソフトウェアを配信し、リスクを軽減し、ソフトウェアサプライチェーン全体の広範囲なセキュリティの脅威から強力に保護することで企業ブランドを強化します。

スピードとスケールのイノベーションでソフトウェアと顧客を保護します。自動化されたセキュリティをSDLCワークフローの一部として脆弱性の特定、優先順位付け、修正に必要な労力を最小化します。

コンプライアンスを簡素化するために、ソフトウェアのセキュリティ制御とベストプラクティスを一貫して実施することでセキュリティ規制、標準、内部ポリシーを遵守します。



JFrog Japan株式会社について

JFrog Japan 株式会社は JFrog Ltd. (JFrog) の日本法人として 2018 年に設立。JFrog は、開発者のキーストロックから製品まで、ソフトウェアの流れをシームレスかつ安全に実現する「Liquid Software」というビジョンを掲げ、世界中のソフトウェアアップデートを強化するミッションに取り組んでいます。JFrog の DevOps プラットフォームにより、ソフトウェア開発組織はバイナリのライフサイクル全体を通じてソフトウェアのサプライチェーンを包括的に強化し、ソースを構築、保護、配信し、あらゆる本番環境と接続することができます。JFrog のハイブリッドでユニバーサルなマルチクラウド DevOps プラットフォームは、AWS、Microsoft Azure、Google Cloud 上で、オープンソース、自己管理型、SaaS サービスとして利用できます。Fortune 100 企業を含む多くの企業とユーザーが、JFrog のソリューションを活用しデジタルトランスフォーメーションを安全かつ円滑に推進させています。



JFrog Japan 株式会社

〒 100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2 Global Business Hub Tokyo | TEL: 03-4243-1049 | Webサイト: jfrog.com/ja/ | ブログ: jfrog.com/ja/blog/
お問い合わせ: jfrog.com/ja/contact-us/

- JFrogの名称、ロゴマークおよびすべての JFrog製品の名称は、JFrog Ltd.の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- JFrogは、通知を行うことなく、いつでも該当製品およびサービスの提供、機能を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。